

SPACE COOL

放射冷却素材カタログ

世界に木陰の涼しさを

「ゼロエネルギー」の冷却で、
世界に安全で快適な涼しさを届ける



ゼロエネルギーで熱環境をよくしたい。

本来の涼しさを追求し、
ゼロエネルギーでの冷却により熱環境を本質的に改善する、その可能性を信じて。
それが、私たち SPACECOOL 社の信念です。

VISION

世界に木陰の涼しさを

「ゼロエネルギー」の冷却であなたと、環境、そしてすべての世界に
本当に安全で快適な涼しさを届ける。

MISSION

放射冷却素材を通じた 人・モノ・社会の暑熱環境の改善

耐久性の高い「放射冷却素材」の提供により、さまざまな場を外気より低温にすることで
安全性・快適性・信頼性・経済性・環境性の改善・向上にコミットする。

VALUE



人に

安全性・快適性の提供
熱中症予防、食品鮮度維持など



モノに

信頼性・スペース効率・経済性の向上
屋外機器の故障抑制、積荷スペース効率、コスト削減など



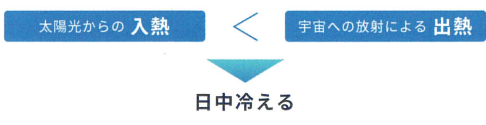
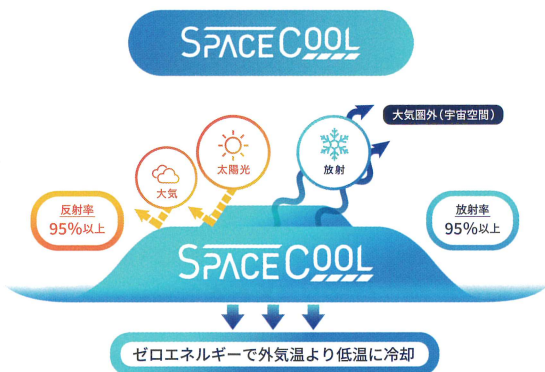
社会に

ゼロエネルギー活動推進・環境性の向上
電気・ガス・その他エネルギーに頼らない冷却、温室効果ガス排出抑制など

SPACECOOL

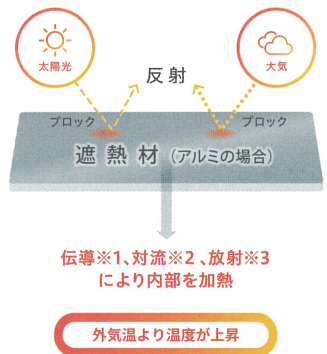
SPACECOOL は、太陽光と大気からの熱をブロックし熱吸収を抑えるだけでなく、宇宙へ熱を放射することで熱を捨て、ゼロエネルギーで外気より低温にする新素材です。快適性向上、安全性向上、温暖化の緩和に繋がる商品でさまざまな用途にご利用いただけます。

従来の遮熱素材や断熱素材と違い、ゼロエネルギーで外気より低温にする新素材。



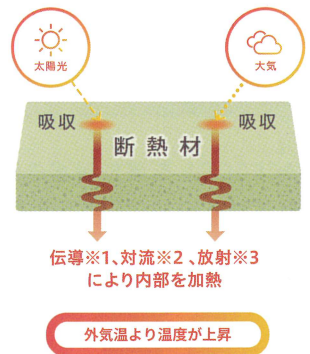
すべての製品が太陽光反射率、赤外光放射率（8-13μm）ともに95%以上

遮熱素材



太陽光等を素材の表面から室内への入熱を小さくした素材。太陽光等が当たると外気温より温度が上昇。

断熱素材



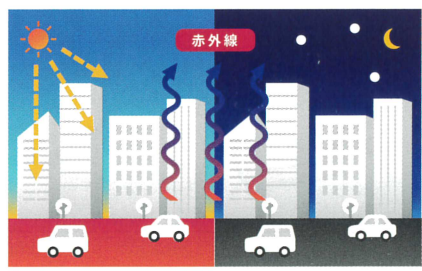
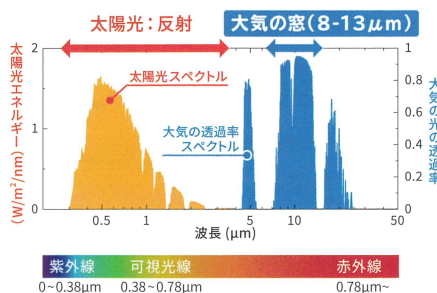
素材の内部に伝わる熱の量を遅くする素材。太陽光等が当たると外気温より温度が上昇。蓄熱、熱ごもりが起りやすい。

※1. 伝導：物質を介して熱が伝わる現象。※2. 対流：流体の移動を介して熱が伝わる現象。※3. 放射：光を介して熱が伝わる現象。

放射冷却とは

地表面からの熱が、宇宙空間へ放出されて冷えることを「放射冷却」と言います。放射冷却を発生させるためには、「大気の窓」と言われる宇宙空間へ抜ける限られた波長域で熱を放射させる必要があります。

晴れた日の夜が冷え込むのは、日射がなく熱が地球から宇宙へ放出され続けているためです。逆に、昼間は地球から出ていく熱よりも、日射による入熱の方が大きいため、地面は温められます。

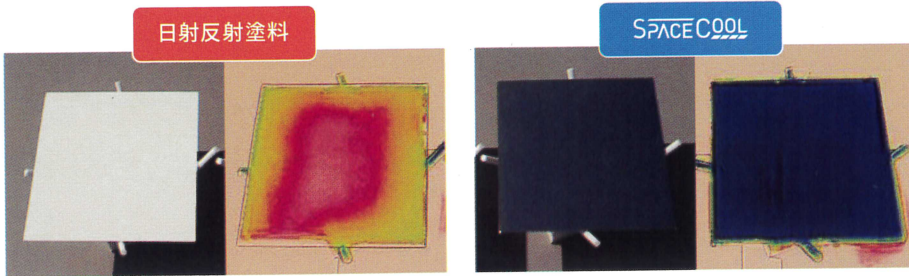


実証実験結果

FILM

導入事例 | 鉄板に SPACECOOL フィルムを施工

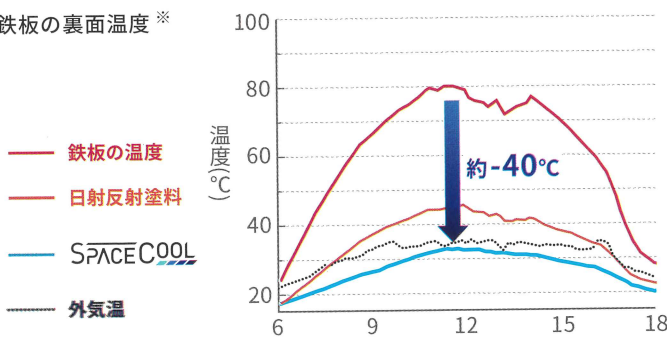
真夏の炎天下で外気温と比較し、約 2 ~ 6℃ の温度低下を立証。



試験条件

- 測定箇所：鉄板裏面

鉄板の裏面温度※



※天候により変動。
試験実施日：2017年9月1日

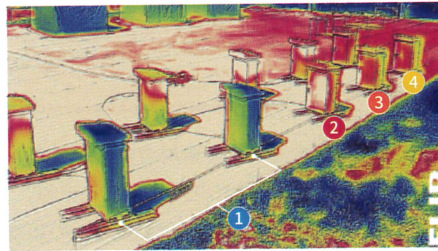
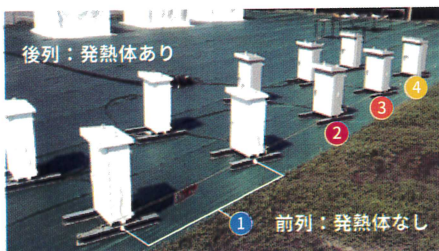
効果

真夏の炎天下で鉄板と比較し、約 40℃ の温度低下を確認。
世界最高レベルの冷却性能で様々な用途に応用が可能。

FILM

導入事例 | 分電盤に SPACECOOL フィルムを施工

SPACECOOL を屋外機器の盤・キュービクルに直接貼り付けるだけで、内部温度を約 -10℃ 低下でき、内部機器の故障や劣化を抑制することができます。



① SPACECOOL ② 一般塗料 ③ 遮熱塗料 ④ 遮光板付

試験条件

- 内部熱源：インバータを模擬したもの (200W)
- サイズ：H1000/W600/D300

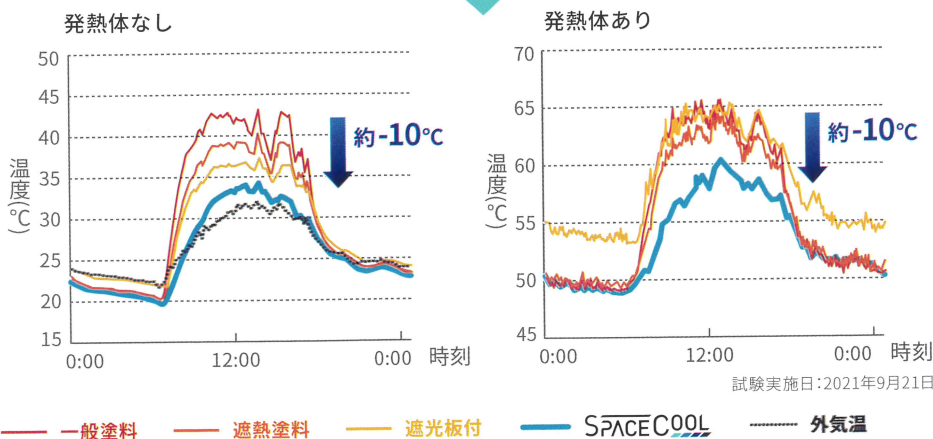
本実証実験は、竹中工務店殿、セイリツ工業殿と共同で、夢洲実証実験※として実施

※大阪商工会議所と日本国際博覧会協会が共同で主催

効果

発熱体なし
一般塗料と比較して約 -10℃
遮光板と比較し、-5℃ の温度低下を確認。

発熱体あり
一般塗料と比較して約 -10℃
遮光板と比較し、温度差が約 -8℃ に拡大。



試験実施日：2021年9月21日

— 一般塗料 — 遮熱塗料 — 遮光板付 — SPACECOOL — 外気温

FILM

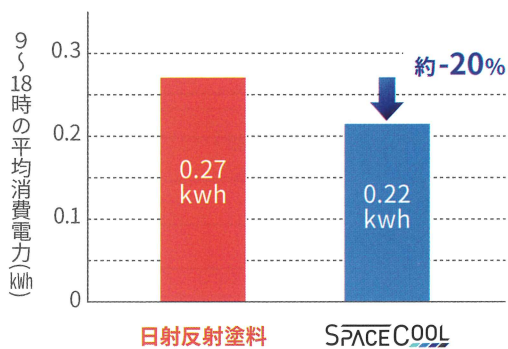
導入事例 | ユニットハウス・コンテナハウスの外表面に SPACECOOL フィルムを施工

SPACECOOL を施工することで冷房負荷を減らし、最大約 20%冷房消費電力の削減を確認。



試験条件

- ・冷房、24h 空調 25°C設定
- ・9～18時の電力消費量の比較 (雨の日は除外)
- ・ユニットハウスサイズ：3.1坪



効果

断熱対策が必要最小限になり
積荷スペースの効率が向上。
冷房負荷を減らし、
コスト削減とCO₂削減を両立。

MEMBRANE

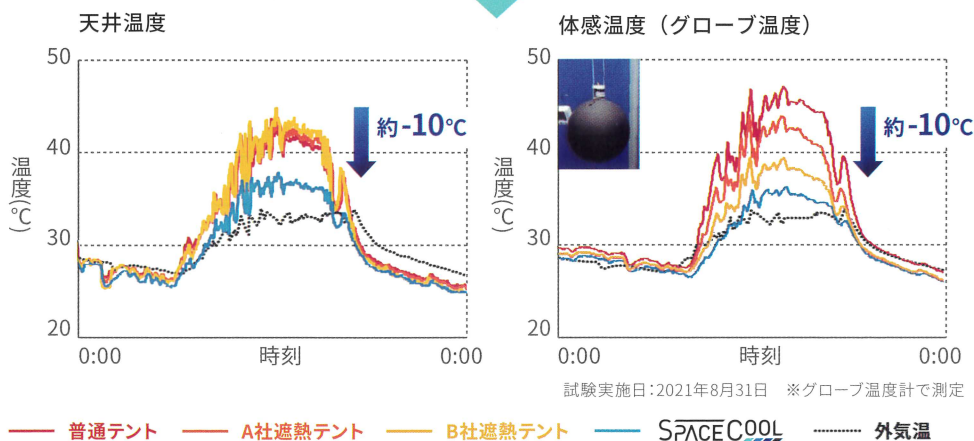
導入事例 | テントを SPACECOOL の膜材料を使用して製造

SPACECOOL テントと普通テント、他社遮熱テントを比較して試験実施。
天井温度と体感温度において約 -10°Cの違いを確認。



試験条件

- ・冷房 24°C設定
- ・テントサイズ：270cm×360cm




効果

真夏の直射日光下における
テント内の高温環境を緩和し、
熱中症による健康被害を防止。

商品一覧

FILM

フィルム

品名	・SPACECOOLフィルム_白 ・SPACECOOLフィルム_銀
品番	白：SCF-A25M-XNW 銀：SCF-A25M-XNS
不燃・防災	 不燃
おすすめ使用用途	盤・キュービクル コンテナ モビリティ 建築物
サイズ(巾×長さ)	1250 mm × 25 m
材質	PVC等
厚さ(代表値)	110 μm(粘着剤を含む)
重量(代表値)	145 g/m ² (剥離紙含まない)
粘着剤	感圧タイプ アクリル系
粘着力(SUS板)	約9N/25 mm(貼付後24時間放置)
認定	・国土交通大臣認定不燃材料 認定番号：NM-5427、NM-5428、NM-5429
試験方法	厚さ：ISO 4593に準ずる。 特性における数値は、原則として 温度20℃・湿度65%での試験結果を基にしています。




MAGNET SHEET

マグネットシート

品名	・SPACECOOLマグネットシート_白
品番	白：SCG-040I-KXW
不燃・防災	—
おすすめ使用用途	仮設資材 盤・キュービクル
サイズ(巾×長さ)	1020 mm × 10 m(乱尺)
材質	基材：ボンド磁石 表面：PVC等
厚さ(代表値)	0.58 ± 0.02 mm
重量(代表値)	1490 ± 50 g/m ²
着磁ピッチ	2.2 mm
表面磁束密度	27 mT 270 G
吸着力	1.77 kPa 18 gf/cm ²
最大エネルギー積 BHmax	4.0 kJ/m ³ 0.5 MG・Oe
残留磁束密度	150 mT 1500 G
保磁力 bHc	103 kA/m 1300 Oe
保磁力 iHc	219 kA/m 2750 Oe

MEMBRANE

建築用膜材料 / ターポリン・キャンバス

品名	・SPACECOOL膜材料 -300G(不燃・B種)_白 ・SPACECOOL膜材料 -300G(不燃・B種)_銀	・SPACECOOLターポリン -200F(高強度・防災)_白 ・SPACECOOLターポリン -200F(高強度・防災)_銀	・SPACECOOLターポリン -50F(軽量・防災)_白	・SPACECOOLキャンバス -100E_白 ・SPACECOOLキャンバス -100E_銀
品番	白：SCM-300G-XNW 銀：SCM-300G-XNS	白：SCM-200E-XFW 銀：SCM-200E-XFS	白：SCM-050E-XFW	白：SCM-100E-XXW 銀：SCM-100E-XXS
不燃・防災	 不燃	 防災	 防災	—
おすすめ使用用途	膜建築物 倉庫・工場 テント倉庫	テント ルーフシェード	カバー パラソル サンシェード	カバー パラソル
サイズ(巾×長さ)	104 cm × 50 m(乱尺)	104 cm × 50 m(乱尺)	120 cm × 50 m(乱尺)	103 cm × 50 m(乱尺)
材質	基布：ガラス繊維 表面：PVC等	基布：ポリエステル 表面：PVC等	基布：ポリエステル 表面：PVC等	基布：ポリエステル 表面：PVC等
厚さ(代表値)	0.56 ± 0.05 mm	0.73 ± 0.05 mm	0.56 ± 0.05 mm	0.53 ± 0.05 mm
重量(代表値)	820 ± 50 g/m ²	880 ± 50 g/m ²	700 ± 50 g/m ²	560 ± 50 g/m ²
引張強さ(縦×横)	3300 N/3cm × 3000 N/3cm	2100 N/3cm × 1800 N/3cm	490 N/3cm × 490 N/3cm	1400 N/3cm × 1200 N/3cm
伸度(縦×横)	5% × 7%	19% × 25%	18% × 25%	22% × 27%
認定	・国土交通大臣認定不燃材料 認定番号：NM-5553 ・日本膜構造協会B種膜材料 認定番号：MMEB-0100	・日本防災協会 防災製品認定 認定番号：FR-03259	・日本防災協会 防災製品認定 認定番号：FR-04296	
試験方法	サイズ：JIS L 1096 8.2.1に準ずる。 厚さ：JIS L 1096 8.4に準ずる。 重量：JIS L 1096 8.3.2に準ずる。 引張強さ：JIS L 1096 8.17.3に準ずる。	サイズ：JIS L 1096に準ずる。 厚さ：JIS L 1096に準ずる。 重量：JIS L 1096に準ずる。 引張強さ：JIS L 1096に準ずる。		

※SPACECOOLマグネットシートおよびSPACECOOLターポリン-50F(軽量・防災)の色は白のみです。

※商品のデザイン・仕様等は改良のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

※記載している物性値は初期の測定値であり、保証値ではありません。

※建築用膜材料/ターポリン・キャンバスに関しては高周波溶着を行わないでください。感電の恐れがあります。

フィルム

しなやかな光学フィルムで
様々な用途に施工・適用が可能



品名	<ul style="list-style-type: none"> SPACECOOL フィルム_白 SPACECOOL フィルム_銀
品番	白: SCF - A25M - XNW 銀: SCF - A25M - XNS
不燃・防炎	不燃
サイズ (巾 × 長さ)	1250 mm × 25 m
材質	PVC 等
厚さ (代表値)	110 μm (粘着剤を含む)
重量 (代表値)	145 g/m ² (剥離紙含まない)
粘着剤	感圧タイプ アクリル系
粘着力 (SUS板)	約 9N/25 mm (貼付後 24 時間放置)

試験方法

厚さ: ISO 4593 に準ずる。

特性における数値は、原則として温度 20℃・湿度 65% での試験結果を基にしています。

国土交通大臣認定不燃材料 — 認定番号: NM-5427、NM-5428、NM-5429

不燃認定: 建築基準法 (昭和二十五年法律第二百一十号) 法第二条第九号に基づく不燃材料の性能評価 (金属板、金属板以外、アルミ板) に合格*1

・NM-5427 (合成樹脂フィルム張/不燃材料 (金属板を除く)) ・NM-5428 (合成樹脂フィルム張/不燃材料 (金属板))

・NM-5429 (合成樹脂フィルム張/アルミニウム合金板)

*1 本フィルムが不燃認定品と認められるには、平成12年5月30日建設省告示第1400号「不燃材料を定める件」に記載されている建築材料および認定書の別添に記載された基材に施工した場合に限ります。建設省告示第1401号 (準不燃材料)、建設省告示第1402号 (難燃材料) の建築材料及びその他準不燃材料、難燃材料へ施工しても不燃認定品にはなりません。表面に化粧を施された基材に施工しても不燃認定品にはなりません。

※商品のデザイン・仕様等は改良のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
※記載している物性値は初期の測定値であり、保証値ではありません。

導入用途例



盤・キュービクル

屋外盤、蓄電池、基地局

効果

・熱による故障、誤作動を抑制



コンテナ・貯蔵タンク

輸送用コンテナ、ガスタンク

効果

・輸送、保管時の温度上昇を抑制
・内容物の熱問題解消



モビリティ

ミキサー車、タンクローリー、トラック荷台

効果

・停止時の車内温度上昇を抑制
・冷却効率の向上

※お客様の使用環境によっては、シワや剥がれが生じる場合がございます。



建築物

工場、倉庫、空港等の大型施設

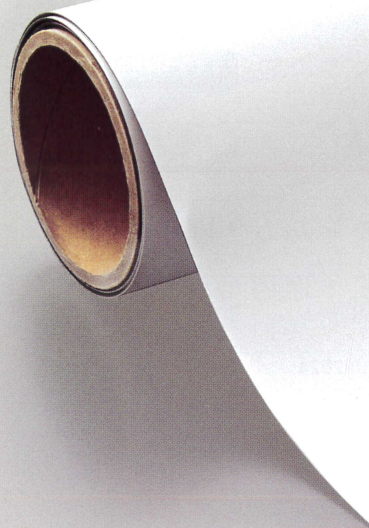
効果

・室内の温度上昇を抑制
・熱中症予防

MAGNET SHEET

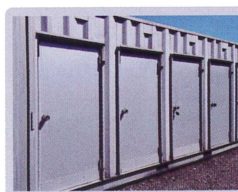
マグネットシート

容易に着脱が可能で
現場施工の負担を軽減



導入用途例

品名	・SPACECOOL マグネットシート_白
品番	白：SCG-040I-KXW
不燃・防災	—
サイズ (巾×長さ)	1020 mm × 10 m (乱尺)
材質	基布：マグネットシート 表面：PVC 等
厚さ (代表値)	0.58 ± 0.02 mm
重量 (代表値)	1490 ± 50 g/m ²
着磁ピッチ	2.2 mm
表面磁束密度	27 mT 270 G
吸着力	1.77 kPa 18 gf/cm ²
最大エネルギー積 BHmax	4.0 kJ/m ³ 0.5 MG・Oe
残留磁束密度	150 mT 1500 G
保磁力 bHc	103 kA/m 1300 Oe
保磁力 iHc	219 kA/m 2750 Oe



仮設資材

パソコン収納盤、コンテナ

効果

- ・輸送・保管時の温度上昇を抑制
- ・内容物の熱問題解消



盤・キュービクル

屋外盤、蓄電池、基地局

効果

- ・熱による故障，誤作動を抑制

※SPACECOOLマグネットシートの色は白色のみです。
※商品のデザイン・仕様等は改良のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
※記載している物性値は初期の測定値であり、保証値ではありません。

MEMBRANE

ターポリン・キャンバス

引っ張りに強く、
様々な形状に縫製加工が可能



導入用途例

品名	<ul style="list-style-type: none"> SPACECOOLターポリン-200F(高強度・防災)_白 SPACECOOLターポリン-200F(高強度・防災)_銀 	SPACECOOLターポリン-50F(軽量・防災)_白	<ul style="list-style-type: none"> SPACECOOLキャンバス-100E_白 SPACECOOLキャンバス-100E_銀
品番	白: SCM-200E-XFW 銀: SCM-200E-XFS	白: SCM-050E-XFW	白: SCM-100E-XXW 銀: SCM-100E-XXS
不燃・防災	防災	防災	—
サイズ(巾×長さ)	104cm×50m(乱尺)	120cm×50m(乱尺)	103cm×50m(乱尺)
材質	基布: ポリエステル 表面: PVC等	基布: ポリエステル 表面: PVC等	基布: ポリエステル 表面: PVC等
厚さ(代表値)	0.73 ± 0.05 mm	0.56 ± 0.05 mm	0.53 ± 0.05 mm
重量(代表値)	880 ± 50 g/m ²	700 ± 50 g/m ²	560 ± 50 g/m ²
引張強さ(縦×横)	2100 N/3cm × 1800 N/3cm	490 N/3cm × 490 N/3cm	1400 N/3cm × 1200 N/3cm
伸度(縦×横)	19% × 25%	18% × 25%	22% × 27%

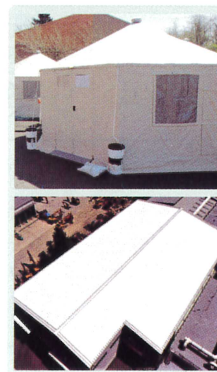
試験方法

サイズ: JIS L 1096 に準ずる。 厚さ: JIS L 1096 に準ずる。
重量: JIS L 1096 に準ずる。 引張強力: JIS L 1096 に準ずる。

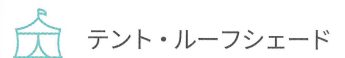
ターポリン (高強度) | 日本防災協会 防災製品認定 (認定番号: FR-03259)

ターポリン (軽量) | 日本防災協会 防災製品認定 (認定番号: FR-04296)

防災製品の種類: テント類 (軒出テント・装飾用テント・キャンプ用テント等)、シート類 (養生用シート・積荷カバー等)、幕類 (のぼり旗・横断幕のような広告幕等)



ターポリン (高強度)



テント・ルーフシェード

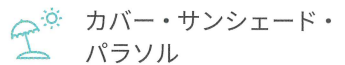
テント (レジャー、イベント、医療)、ルーフシェード

効果

- ・熱中症予防
- ・保管物の熱トラブル防止



ターポリン (軽量)・キャンバス



カバー・サンシェード・パラソル

トラック幌・カバー、サンシェード (住宅、オフィス、店舗、自動車)、日傘・パラソル (レジャー、イベント)

効果

- ・熱中症予防
- ・保管物の熱トラブル防止
- ・UVカット
- ・やけど防止

※SPACECOOLターポリン-50F(軽量・防災)の色は白のみです。

※商品のデザイン・仕様等は改良のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

※記載している物性値は初期の測定値であり、保証値ではありません。高周波溶着を行わないでください。感電の恐れがあります。

建築用膜材料

B種・不燃認定取得済みで
膜構造物への適用が可能



導入用途例

品名	<ul style="list-style-type: none"> SPACECOOL膜材料 -300G (不燃・B種)_白 SPACECOOL膜材料 -300G (不燃・B種)_銀
品番	白: SCM-300G-XNW 銀: SCM-300G-XNS
不燃・防災	 不燃
サイズ (巾×長さ)	104 cm × 50 m (乱尺)
材質	基布: ガラス繊維 表面: PVC
厚さ (代表値)	0.56 ± 0.05 mm
重量 (代表値)	820 ± 50 g/m ²
引張強さ (縦×横)	3300 N/3cm × 3000 N/3cm
伸度 (縦×横)	5% × 7%

膜建築物



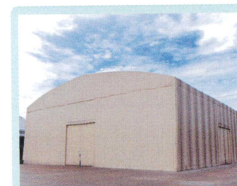
膜建築物
(倉庫、ショッピング施設)、
膜天井
(公園、駅、スポーツ施設)

効果

- ・熱中症予防
- ・UVカット
- ・やけど防止



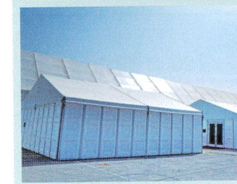
倉庫・工場



簡易倉庫、荷捌き場

効果

- ・熱中症予防
- ・保管物の熱トラブル防止



試験方法

サイズ: JIS L 1096 に準ずる。 厚さ: JIS L 1096 に準ずる。
重量: JIS L 1096 8.3.2 に準ずる。 引張強力: JIS L 1096 8.14 に準ずる。

国土交通大臣認定不燃材料 (認定番号: NM-5553)

日本膜構造協会 B 種膜材料 (認定番号: MMEM-0100)

不燃認定: 建築基準法第 2 条第九号及び同法施行令第 108 条の 2 第一号から第三号まで (不燃材料) の規定に適合

※商品のデザイン・仕様等は改良のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

※記載している物性値は初期の測定値であり、保証値ではありません。高周波溶着を行わないでください。感電の恐れがあります。

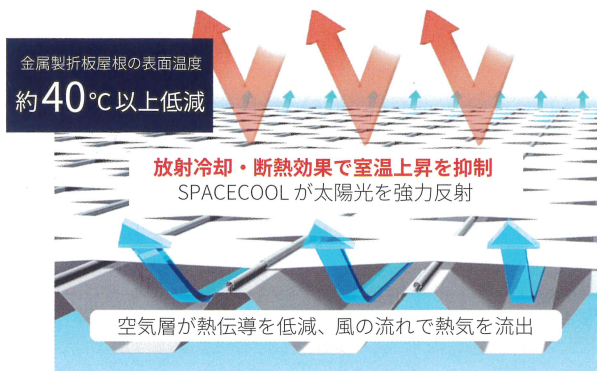
SPACECOOLを活用したメーカー専売品のご紹介

ハゼ折板屋根向け施工法

ルーフシェード（日本ワイドクロス株式会社様）

金属製折板屋根の上面を、放射冷却シート「SPACECOOL」で覆うことにより、屋根の表面温度を低減する事が可能。更に、他工法と比べ、「低価格・短期施工・優れた耐久性」を実現しました。

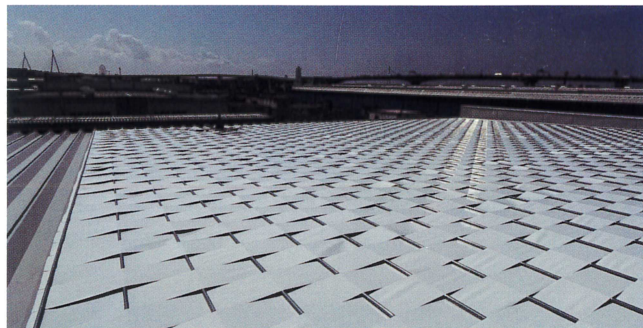
特徴



- ①断熱性の向上**
「屋根とSPACECOOLとの間の空気層」で断熱性を向上。
- ②部材点数が少ない**
必要な部材はSPACECOOLと固定金具のみ。見積の簡易化、施工の単純化を実現。
- ③電動工具を使用しない**
施工は専用のかしめ機で行うため作業に電源が不要。施工作業中の騒音はほとんどありません。
- ④施工後の歩行が可能**
耐積雪量約1mに耐える強度を保有しており、施工後のメンテナンス作業も容易。

施工事例

工場、事務所、冷凍倉庫、リサイクル設備 など。



注意点

ルーフシェードは、ハゼ式折板屋根のみ設置可能です。



販売元
お問い合わせ先



日本ワイドクロス株式会社
本社 〒582-0001 大阪府柏原市本郷3丁目784番地
TEL 072-971-5144 / FAX 072-971-5561



石川テント 株式会社
本社 〒799-0113 愛媛県四国中央志妻鳥町2935-4
TEL 0896-56-5042 / FAX 0896-58-7991



防水シート

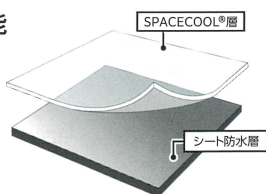
イノベーションブルーフ アールアール

Innovation Proof RR（ロンシール工業株式会社様）

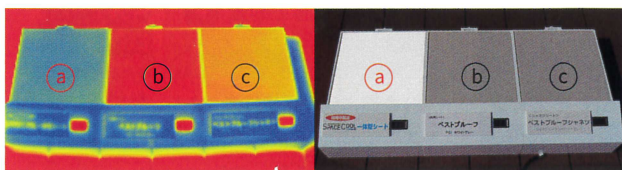
従来のシャネツ防水シートよりも、高い入熱抑制と放熱をするため、表面温度が下がるだけでなく、室内の温度低下効果も発揮する高反射性・高放射性能塩化ビニル系ルーフィングシートです。

特徴

- ①ロンシール社製の高い防水性能**
- ②コンクリートへの蓄熱を防ぎ、熱を宇宙に逃す**
- ③CO₂排出抑制**
冷房負荷軽減による電力削減を削減
- ④遮熱性能+放射性能のダブルの効果で温度上昇を抑制**



【簡易温度比較試験】 既存製品と比べ、表面温度が約10℃の低下を確認



a, Innovation Proof RR b, 汎用防水シート c, シャネツ防水シート

※シート3種とも2階建て建物屋上に設置。30分経過後に温度を測定をしています。
※試験の結果は測定値であり、保証値ではございません。
※温度の比較数値はイノベーションブルーフアールアールと、当社防水シート（ホワイトグレー色）を比べた数値となります。

施工事例・実証実験

東京都交通局で当防水シートの実証試験開始。
都営バス営業所の空調エネルギー削減を目指す。



【実証実験概要】

品川自動車営業所の屋上に当防水シートを施工し、営業所で使用した電力量について、施工前と比較検証を行う。

- ・期間：2024年5月1日～9月30日まで
- ・Innovation Proof RRのスペック：
S-F2（国土交通省共通仕様書番号）/塩ビシート防水接着工法（10年保証）

販売元
お問い合わせ先



ロンシール工業株式会社
防水事業部 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3
TEL 03-5600-1866 / FAX 03-5600-1846



FILM

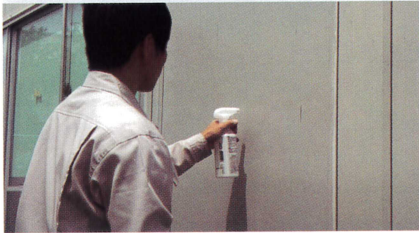
フィルムの基本的な施工方法

SPACECOOLの製品を長くお使いいただくために端部処理を必須とさせていただいております。

必要な道具

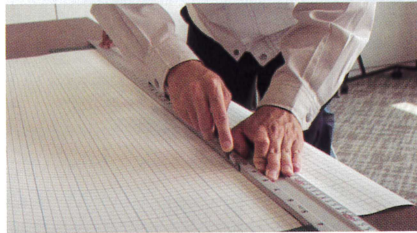
- | | | | |
|---|--|-----------|-----------------------|
| ① | | ① 定規 | ⑦ スキージー |
| ② | | ② カッターマット | ⑧ スコッチカルフィルムまたはエッジコート |
| ③ | | ③ ペン | ⑨ 水 (清掃用アルカリ電解水など) |
| ④ | | ④ カッター | ⑩ 雑巾 |
| ⑤ | | ⑤ 剥離紙カッター | ⑪ メジャー |
| ⑥ | | ⑥ ハサミ | ⑫ マグネット |
- ※端部処理や防汚コートなどの仕上げ剤については、p.12をご確認ください。
防汚コートの塗布には別途、道具が必要です。詳しくは施工動画をご参照ください。

1 クリーニング



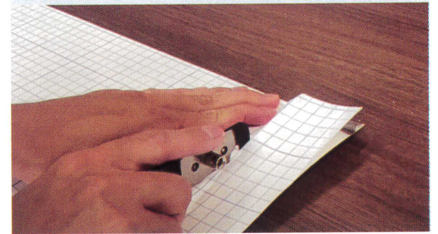
施工対象基材に汚れ、塵、埃、水分、油分、洗剤が残らないように水や雑巾を使用し、きれいに清掃する。

2 寸法取り・カッティング



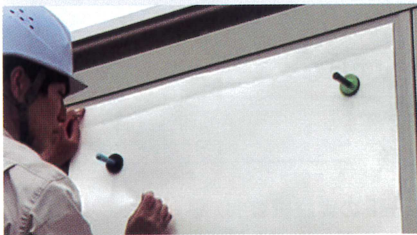
先にサイズを決めてカット。最後にスコッチカルフィルムで端部処理を行うため、貼付対象より上下 10mm (エッジコートの場合は 5mm) 程度短くカットする。

3 貼付準備



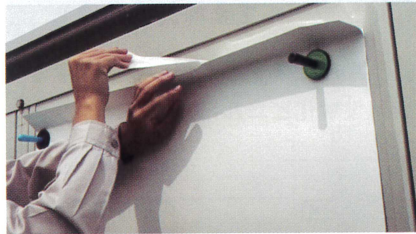
剥離紙カッターを使い、貼付の起点部分の剥離紙を 50mm 程度の幅でカットする。剥離紙は剥がさず残しておく。

4 貼付位置決め



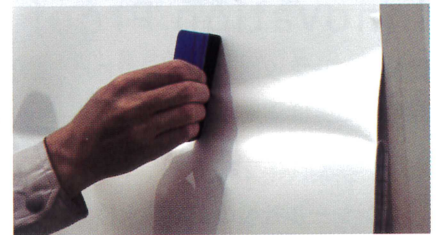
剥離紙を剥がさず、施工対象より上下左右 10mm (エッジコートの場合は 5mm) 程度の隙間ができるようにフィルムを配置し、マグネットで固定する。

5 起点を貼付



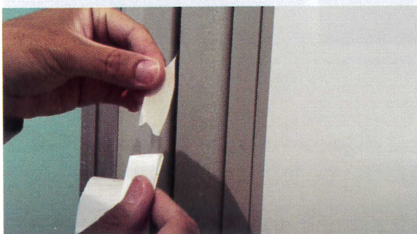
フィルムの貼付位置が決まったら、手順3でカットした起点部分の剥離紙を剥がし、貼り付けて固定する。

6 フィルム貼付



残りの剥離紙も起点側から少しずつ剥がし、スキージーで中央から左右に空気を逃すようにして貼り進める。※貼付に際し、フィルムにテンションをかけないよう注意してください。

7 端部処理



フィルム端部と基材にまたがる様に、スコッチカルフィルム (またはエッジコート) を施工する。エッジコートは施工部分をマスキングテープで囲うときれいに施工できます。

8 防汚コート ※長くお使い頂くために



汚れが気になる環境の場合は防汚コートのお勧めします。詳しい塗布方法は施工動画にてご確認ください。推奨の防汚コート剤は P.12 に記載。

SPACECOOL フィルム
基本的な施工動画



対象物より大きめにカットし、貼付後に余分な箇所をカットする方法は QR 先の施工動画より、ご確認ください。

エッジコートを使用した
端部処理施工動画



処理剤 製品一覧

端部処理 推奨剤

用途		端部処理	
処理剤	製品イメージ		
	製造会社	SPACECOOL 株式会社	スリーエム ジャパン株式会社
	製品名	エッジコート	スコッチカルフィルム
	型番	—	Jシリーズ SC900 (透明)
使用商品	フィルム	必須	必須
	マグネットシート	推奨	推奨
	ターポリン (高強度)	推奨	—
	ターポリン (軽量)	推奨	—
	キャンバス	推奨	—
	建築用膜材料	必須	—
備考	いずれか1つの製品の使用を推奨 ※オートンプライマーの下地処理を行う場合は、エッジコートを使用してください。		

下地処理・防汚コート処理 推奨剤

用途		下地処理	防汚コート処理
処理剤	製品イメージ		
	製造会社	オート化学工業株式会社	丸昌産業株式会社
	製品名	オートンプライマー	セルフェイスコート
	型番	OP-2020	WG-R1 (EtOH)
使用商品	フィルム	推奨	推奨
	マグネットシート	推奨	推奨
	ターポリン (高強度)	推奨	推奨
	ターポリン (軽量)	推奨	推奨
	キャンバス	推奨	推奨
	建築用膜材料	必須	—
備考	端部処理にエッジコートを使用する際に合わせて使用します。		

商品使用上の注意点

フィルム

- ・ 施工は当社発行のマニュアル「SPACECOOL フィルム SCF シリーズ 施工、メンテナンス方法」をご参照ください。
- ・ フィルム保護のためにシーリングテープやコーティング剤でフィルム端部を処理してください。
シーリングテープやコーティング剤として下記材料を推奨しています。
接着保持のためコーティング剤はプライマーと合わせて使用することを推奨します。

シーリングテープ	スリーエム ジャパン株式会社 スコッチカルフィルム J シリーズ SC900 透明
コーティング剤	SPACECOOL 株式会社 エッジコート プライマー：オート化学工業株式会社 オートンプライマー OP-2020

- ・ フィルムの貼り付けは、フィルムにテンションをかけないように注意しながら、しっかりと圧着してください。
- ・ フィルムは伸びないため、平面、円柱面以外の曲面（球面や楕円面など）に貼り付けた場合はシワになるのでご注意ください。
- ・ 塗れた面に貼り付けると、粘着剤の劣化や施工不良、剥がれ、膨れの原因になります。
水分を十分取り除いてから貼り付けを行ってください。
なお水貼りを行う場合は、基材とフィルムの間に水分が残らないように施工してください。
- ・ 凹凸の激しい基材に貼り付ける場合は、十分な接着力が得られない場合があります。
特にフィルム端部は浮き上がりのないようにゴムハンマーなどでたたいて基材に完全に密着させてください。
- ・ 特殊な下地に対しては、下地の状態が耐久性に影響しますので用途によっては十分注意が必要です。

マグネット

- ・ 強風が吹くおそれのある場所への施工等、剥がれるおそれがある場所で使用する際は端部をテープで止める等の対策を行ってください。
- ・ 磁気の影響を受ける場所または故障する機器等には近づけたり、使用しないでください。
- ・ 枚葉物（カット品）の保管時は、シート間に必ず合紙を入れて積み重ねてください。
- ・ 航空輸送時は IATA 包装基準 953 を参照して下さい。梱包を工夫し、磁力線の漏洩に注意する必要があります。
- ・ 貼り付ける前に被着体表面の水分・汚れ等をよく拭き取ってからご使用ください。
また、マグネットシート面にも水分・汚れ等がある場合はよく拭き取ってからご使用ください。
- ・ マグネットシートの被着面（相手側）は平滑面であることを確認してください。
- ・ マグネットシートと被着面の間に隙間が生じるような曲面・凹凸面等への吸着、また、端部・角等が浮いた状態で使用した場合、剥離・落下が起こる場合があります。用途、使用箇所、設計には十分注意してください。
- ・ マグネットシートと被着体の間に侵入した雨水・ホコリ・鉄粉等により、被着体表面（塗装等）に変化が起こる場合があります。
その場合は一度取り外し、水分・汚れ等がありましたら被着体表面とマグネットシート面をよく拭いてから貼り直すようにしてください。
また、被着体表面に異変が感じられた場合は使用を中止することを推奨します。
被着体表面の変化が気になる場合は端部処理することを推奨します。
- ・ マグネットシートは磁石です。ペースメーカー、磁気カード、磁気テープ、時計等、磁気に影響される物を近づけないでください。
- ・ マグネットシートに高磁力の物（電磁石・希土類磁石、高圧電線）を近づけないでください。
磁力が乱され、減磁・消磁する場合があります。

膜材料・ターポリン・キャンバス

- ・高周波溶着を行わないでください。感電のおそれがあります。
- ・本製品加工の際は端部や縫製部分に必ずコーティングを実施してください。
端部や縫製部の処理剤として下記材料を推奨しています。接着保持のためエッジコートはプライマーと合わせて使用してください。

コーティング剤	SPACECOOL 株式会社 エッジコート プライマー：オート化学工業株式会社 オートンプライマー OP-2020
---------	--

廃棄について

- ・廃材は産業廃棄物として処理してください。

生地の保管について

- ・直射日光の当たらない乾燥した場所に 5~38℃以下で保管してください。1年間の保管が可能です。
- ・保管場所は高温高湿を避けて下さい。高温によるシートの変形が起きる場合があります。

その他

- ・ここで用いている数値は平均的なものであり、保証値ではありませんので規格等の作成には使用できません。
- ・強く曲げると折皺が入ることがあります。折皺が入らないよう、丁寧にお取扱ください。
- ・製品表面に数 mm 程度の傷や抜けといった欠陥がある場合が御座いますが、製品性能に影響はありません。
- ・本素材及びこの説明書の使用もしくは誤使用によって生じるあらゆる損失・損害に対し、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・本素材の使用にあたっては、事故等が生じないように、この説明書の記載内容を十分確認した上で使用するものとし、使用場所・使用方法については自己責任で判断してください。
- ・当社は、本製品についてあらゆる用途での有効性を保証するものではなく、本フィルムの使用により生じた損害については、本製品の欠陥に起因する場合を除き一切の責任を負いかねます。

このカタログの著作権は弊社に属します。よって、無断複製、引用等を禁じます。

その他不明な点につきましては、弊社代表メール (support@spacecool.jp) にお問い合わせください。

宇宙に熱を捨て

太陽光をブロック

COMPANY PROFILE

社名 SPACECOOL 株式会社 (SPACECOOL INC.)
設立 2021年4月1日
本社 〒105-6404
東京都港区虎ノ門 1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 4階 ARCH 内
研究所 〒554-0051
大阪市此花区西島 6-19-9 大阪ガスエネルギー技術研究所内
活動拠点 大阪、名古屋、東京

<https://www.spacecool.jp/>

お問い合わせ

